



FOIS
artiste

煉瓦×漆

漆
BRICK

FOIS artiste とは

フランス語で『Fois“掛ける”』『artiste“芸術家”』を意味する——

日本には世界に誇れる多くの伝統的な“モノづくり”が存在し、
独自の技術を持つ職人たちがその文化を支えています。

しかし、表に出る機会の少ない彼らのことはあまり知られていません。
技術を影で支える職人にフィーチャーし、様々な分野の職人を“掛け合わせ”
今までにない“新しいモノ”を生み出すプロジェクトです。

FOIS artiste

フォワアルチスト

高山登志彦

煉瓦積職人

父（彦八郎）の元で修行を積み三代目を継承する。主な作品としては、風の丘葬斎場（建築家・楨文彦）、武蔵野市立中央図書館（建築家・鬼頭梓）、ホテル川久（建築家・永田祐三・北野俊二）、倉敷アイビースクエアアイビーエメラルドホール（浦辺設計）、弘前れんが倉庫美術館（建築家・田根剛）。国内にとどまらず、海外での煉瓦積み指導・監修にも積極的に取り組んでいる。



煉瓦 × 漆

粘土を整形して焼き固めた煉瓦は、自然物ならではのテクスチャーや経年とともに深みを増していく風合いが好まれ、根強い人気を誇る建築素材です。

一方、日本の伝統工芸である漆塗りは、その美しさと強靭さから評価が高く、食器や高級家具、壁・床材、楽器などの塗料として幅広く使用されています。

いずれもトラディショナルな自然素材である「煉瓦」と「漆」の出会いは、見る者の創造性を刺激し、既存の枠組みに捉われない豊かな世界を展開します。



京都に生まれ育ち、宮大工を経て社寺などの漆塗りの世界に入る。国宝東本願寺や知恩院、世界遺産二条城の修復事業をはじめ、多数の有名物件を手がける。社寺建築にこだわらず、幅広い分野に向けて伝統技法を用いた漆師屋業を京都で展開する。

大家康弘

漆師屋

Collaboration

煉瓦積職人 × 漆塗職人

漆BRICKとは

焼成した煉瓦の表面を漆塗りでコーティングした新感覚の建築素材。
煉瓦本来の素材感に漆の気品溢れる光沢が交わることで、誰も見たことのない
ハイグレードな魅力が広がる。

漆
BRICK

1



未塗装の煉瓦の割れ肌と、きめ細やかな漆塗り仕上げ。異質の組み合わせは照明により際立ち、深い陰影と雅な光沢が空間にリズムを生み出す。

漆塗り特有の深みがある黒と艶やかな朱色。日本人のDNAに刻み込まれた伝統色のコントラストは、煉瓦の断面に表すことで和の美意識を超えていく。



漆 BRICK

"Lacquered"
塗り

漆を何度も塗り重ね、漆塗り特有の深みのある艶を出した煉瓦。積み方により様々な表情を出す事ができる。上品で深みのある艶は唯一無二。



焼き付けた漆を纏うことで、本来はマットな煉瓦の肌面に硬質な艶が加わる。モノとしての無骨な存在感が際立ち、空間にアクセントを与えてくれる。

3

漆
BRICK

"Baked finish"
焼付

漆を塗り窯で焼くという工程を繰り返すことで、漆を焼付けた煉瓦。煉瓦の凹凸に染み込んだ漆が滑らかな平面とは違った独特の風合いを放つ。



FOIS artiste

フォワアルチスト プロジェクト

プロデューサー／猪熊夏子 (壁も FASHION)

クリエイティブディレクター／中田晋介 (MYU GRAPHICS)

<http://foisartiste.jp/>

お問い合わせ

inokumanatsuko@gmail.com